

- 問1 間接金融の仕組みにおいて、銀行が預金者に支払う利息よりも、企業などの借り手から受け取る利息を高く設定している目的として、最も適切な説明はどれですか。(2025年 愛媛公立入試 類似)
1. 預金から貸し出しまでの仲介に伴うコストや、銀行自身の利益を確保するため
 2. 企業の株主が受け取る配当金を増やし、直接金融の市場を活性化させるため
 3. 日本銀行による金融政策を反映させ、世の中の通貨量を一定に保つため
 4. 預金者が銀行を介さずに企業へ直接投資を行うことを促すため
- 問2 企業が株式や社債を発行して、家計などの投資家から資金を調達する「直接金融」の特徴を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。(2022年 和歌山公立入試 類似)
1. 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。
 2. 銀行が預金者から集めた資金を、銀行自身の責任で企業に貸し付けるため、預金者は貸付先の経営リスクを負わない。
 3. 企業が過去の営業活動で得た利益を社内に蓄積し、そこから必要な設備投資の費用をまかなう。
 4. 日本銀行が民間金融機関に資金を貸し出し、市場に流通する通貨の量を調整することで景気を安定させる。
- 問3 企業が事業資金を調達する方法のうち、「間接金融」に分類されるものの説明として、最も適切なものはどれか。(2024年 大阪公立入試 類似)
1. 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。
 2. 企業が株式を発行し、投資家から直接資金を募る。
 3. 企業が社債を発行し、購入を希望する個人から資金を借り入れる。
 4. 企業がクラウドファンディングを利用して、不特定多数から寄付を募る。
- 問4 日本銀行が担う「発券銀行」としての役割と、政府や国会の役割を区別したとき、日本銀行の業務として正しい説明はどれですか。(2017年 岩手県公立入試 類似)
1. わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する
 2. 国会において、国の収入と支出の計画である予算を審議し議決する
 3. 電気やガスなどの公共料金の価格を決定し、国民生活の混乱を防ぐ
 4. 道路や橋、公園などの社会資本を直接供給し、経済基盤を整備する
- 問5 不景気の際、日本銀行が公開市場操作として行う「買いオペレーション」の仕組みと目的について述べた文として、正しいものはどれですか。(2025年 東京都公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い入れることで、市場の通貨量を増やし、景気の回復を図る。
 2. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売却することで、市場の通貨量を減らし、物価の安定を図る。
 3. 日本銀行が国民から直接国債を買い取ることで、個人の預貯金額を増やし、消費を拡大させる。
 4. 日本銀行が政府に直接資金を貸し付けることで、公共事業の予算を確保し、失業者を減らす。
- 問6 景気が後退している局面において、日本銀行が市場の通貨量を調整して景気の回復を図る「買いオペレーション」の仕組みとして、最も適切な説明はどれですか。(2021年 福岡県公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
 2. 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
 3. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。
 4. 日本銀行が保有する国債などを市中の金融機関に売却することで、市場に出回る通貨の量を減らし、金利を上げる。
- 問7 日本銀行が景気を向上させるために実施する「買いオペレーション」という仕組みと、その結果として期待される物価の動きの組み合わせとして正しいものはどれですか。(2017年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。
 2. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を増やし、物価を上昇させる。
 3. 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を減らし、物価を安定させる。
 4. 日本銀行が市中銀行へ国債などを売り、代金を受け取ることで通貨量を減らし、デフレーションを維持する。
- 問8 経済成長率がマイナスに近づき、勤労者世帯の収入や支出が前年を下回るような不景気の際、政府と日本銀行が景気を下支えるために実施する政策の組み合わせとして適切なものはどれですか。(2025年 東京都公立入試 類似)
1. 政府が公共事業の増加や減税を行い、日本銀行が買いオペレーションを行う。
 2. 政府が公共事業の削減や増税を行い、日本銀行が売りオペレーションを行う。
 3. 政府が公共事業の増加や増税を行い、日本銀行が売りオペレーションを行う。
 4. 政府が公共事業の削減や減税を行い、日本銀行が買いオペレーションを行う。
- 問9 銀行は家計から集めた預金を、資金を必要とする企業などに貸し出すことで経済において重要な役割を果たしています。この活動を通じて銀行が収益を得る仕組みについて、その説明として最も適切なものはどれですか。(2023年 岐阜公立入試 類似)
1. 預金者に支払う利子よりも、貸出先から受け取る利子の方を高く設定し、その差額を収益とする。
 2. 預金者に支払う利子を貸出先から受け取る利子よりも高く設定し、預金残高を増やすことで収益とする。
 3. 貸出先から利子を受け取ることはせず、預金者から徴収する口座管理手数料のみを主な収益とする。
 4. 日本銀行から供給される新紙幣の通貨発行益を、預金者に分配した後の残額を収益とする。
- 問10 日本銀行には3つの大きな役割がありますが、そのうちの一つについて「国庫金の受払事務や、国債の発行・管理といった、国の資金を取り扱う業務」を指す言葉として、最も適切なものはどれですか。(2018年 大分県公立入試 類似)
1. 政府の銀行
 2. 銀行の銀行
 3. 発券銀行
 4. 市民の銀行
- 問11 外国為替相場において、1ドル=138円から1ドル=148円へと円の他国通貨に対する価値が変動した際、日本の経済に与える影響として最も適切な説明を選択してください。(2025年 沖縄公立入試 類似)
1. 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。
 2. 日本から海外へ輸出する製品の現地での価格が上昇するため、輸産業にとって不利に働く。
 3. 日本国内の消費者が海外旅行に行く際の航空券代や滞在費が安くなり、海外旅行が容易になる。
 4. 一ドルを交換するために必要な円が少なくて済むようになるため、輸入企業の支払負担が軽減される
- 問12 貧困などの理由により、一般的な銀行からの融資を受けることが困難な人々を対象に、無担保かつ低金利で少額の資金を貸し出し、起業や生活の安定といった自立を支援する金融サービスの名称を選びなさい。(2026年 栃木公立入試 類似)
1. マイクロクレジット
 2. フェアトレード
 3. クーリング・オフ
 4. フィンテック

答え合わせ・解説

問1	答え 1 預金から貸し出しまでの仲介に伴うコストや、銀行自身の利益を確保するため	銀行は預金者から集めた資金を運用する際、貸出利息と預金利息の差額（利ざや）を得ることで、人件費や店舗の維持費などの運営費用を賄い、利益を出しています。この仕組みがあることで、預金者は企業に直接貸し出すリスクを負わずに、銀行を通じて間接的に資金を供給することが可能になっています。
問2	答え 1 投資家が株式などを購入することで企業に直接資金を提供し、企業の業績や倒産などのリスクを投資家自身が負う。	直接金融では、資金の出し手（投資家）と借り手（企業）が直接結びつきます。そのため、投資した企業が倒産した場合には投資額を失うリスクがありますが、業績が良ければ高い配当などの収益を得る可能性もあります。一方、銀行が間に入る間接金融では、銀行がリスクを負い、預金者には一定の利息が支払われる仕組みになっています。
問3	答え 1 企業が銀行から融資を受けることで、必要な資金を確保する。	間接金融は、銀行などの金融機関が仲介者となって資金を融通する仕組みを指します。一方、株式や社債を発行して市場から直接資金を調達する方法は「直接金融」と呼ばれ、間接金融とは区別されます。
問4	答え 1 わが国唯一の中央銀行として、日本銀行券を発行し流通量を管理する	日本銀行は「中央銀行」として、通貨（日本銀行券）の発行と管理を通じて経済の安定を図ります。これに対し、予算の議決は国会が行い、公共料金の認可や社会資本（インフラ）の整備は、主に政府や地方公共団体が政策として行う業務であるため、中央銀行の役割とは異なります。
問5	答え 1 日本銀行が市中銀行から国債などを買い入れることで、市場の通貨量を増やし、景気の回復を図る。	買いオペレーションは、日本銀行が民間の金融機関（銀行など）が保有する国債を買い、その代金を支払うことで行われます。これにより、民間金融機関が持つ資金が増え、企業や個人への貸し出しが活発になります。市場に流通するお金の量が増えることで、停滞した経済を刺激し、景気を上向かせることが主な目的です。反対に、好景気で物価が上がりすぎたときには国債を売る「売りオペレーション」が行われます。
問6	答え 1 日本銀行が市中の金融機関から国債などを買い入れることで、市場に出回る通貨の量を増やし、金利を下げる。	不景気の際、日本銀行は世の中のお金の循環を促すために、民間銀行が保有する国債を買い取ります。これにより、民間銀行が自由に動かせる資金（通貨供給量）が増加します。市場にお金が増える状態になると、お金を借りる際の価格である「金利（利子）」が低下し、企業や個人がお金を借りやすい環境が整えられます。
問7	答え 1 日本銀行が市中銀行から国債などを買い取り、代金を支払うことで通貨量を増やし、物価を上昇させる。	買いオペレーションは、日本銀行が民間の金融機関（市中銀行）から国債などを買い入れる操作を指します。これにより、代金として日本銀行から市中銀行へ現金が支払われるため、市場に出回る通貨の量が増加します。お金の量が増えて借りやすくなると、モノやサービスへの需要が高まり、下落傾向にあった物価を上昇に転じさせることが期待されます。
問8	答え 1 政府が公共事業の増加や減税を行い、日本銀行が買いオペレーションを行う。	不景気の局面では、社会全体の経済活動を活性化させる必要があります。政府は公共事業を増やして仕事を作り出したり、減税によって家計や企業の自由に使えるお金を増やしたりする財政政策をとります。一方、日本銀行は金融政策として、銀行から国債などを買い入れる「買いオペレーション」を実施し、市場に出回る通貨量を増やすことで、企業が資金を借りやすくし、投資や消費を促します。
問9	答え 1 預金者に支払う利子よりも、貸出先から受け取る利子の方を高く設定し、その差額を収益とする。	銀行は「金融仲介」の役割を担っており、家計などから預金として集めた資金を、企業や個人へ貸し出しています。この際、銀行が貸出先から受け取る利子（貸出金利）を、預金者に支払う利子（預金金利）よりも高く設定することで生じる「利ざや」が、銀行の主な収益源となります。これにより、銀行は組織を維持・運営するための経費や利益を確保しています。
問10	答え 1 政府の銀行	日本銀行は、日本で唯一の「中央銀行」としての役割を担っています。税金などの国庫金の管理や、国債（国の借金）の発行・事務を国に代わって行うことは、国という組織の資金を扱う役割であるため、このように呼ばれます。なお、一般の企業や個人は日本銀行に預金口座を持つことはできません。
問11	答え 1 海外から輸入される原材料や製品の円建て価格が上昇し、国内の物価を押し上げる要因となる。	外国為替相場において1ドルあたりの円の数値が大きくなることは、円の価値が下がる「円安」を意味します。円安になると、海外の製品を輸入する際により多くの円を支払わなければならないため、輸入価格が上昇します。日本はエネルギー資源や食料品の多くを輸入に頼っているため、円安は国内の物価上昇（コストプッシュ・インフレ）を招く直接的な原因となります。
問12	答え 1 マイクロクレジット	貧困層に小規模な資金を提供することで、自ら事業を始めるきっかけを作り、経済的な自立を促す取り組みです。バングラデシュのグラミン銀行がこの制度を導入し、貧困削減に大きな成果を上げたことで世界的に知られるようになりました。